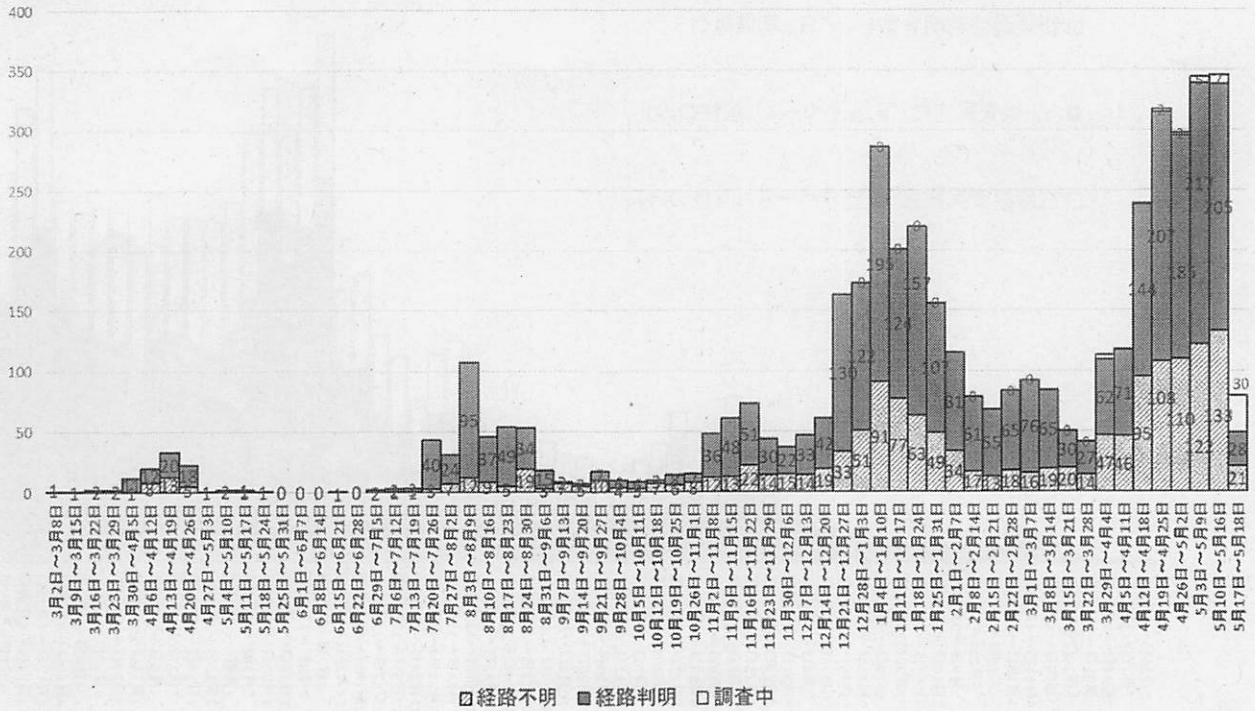

厚生・産業常任委員会 資料3-1
令和3年(2021年)5月19日
健康医療福祉部感染症対策課

新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

県内の感染動向について(5/18現在)

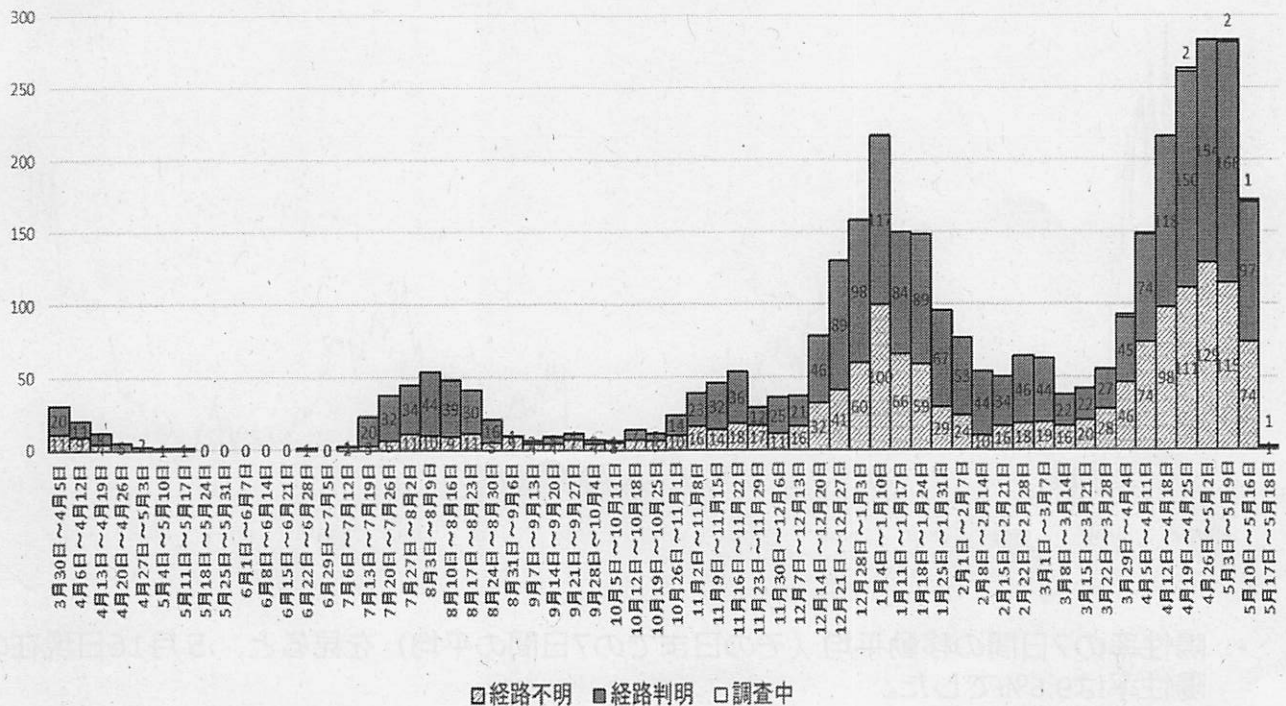
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(公表日別)
5/18 19:00時点(週ベース)



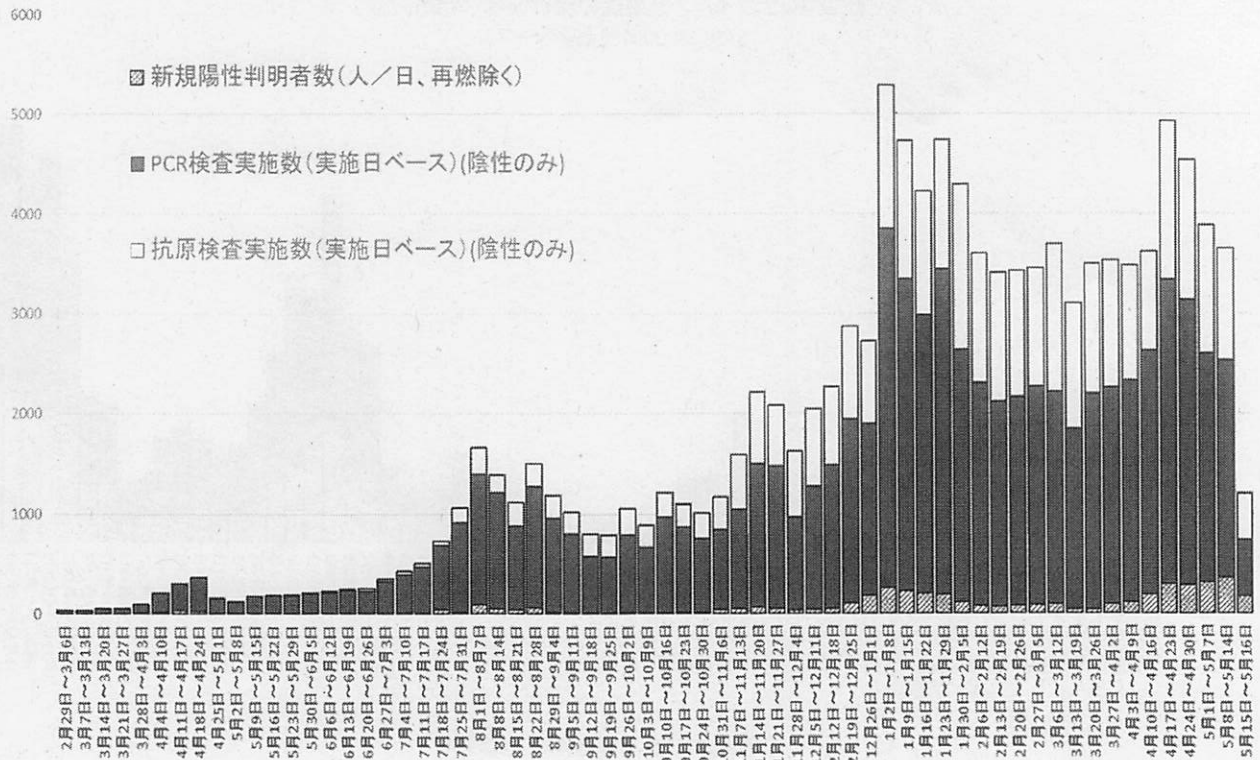
流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(5月18日現在)

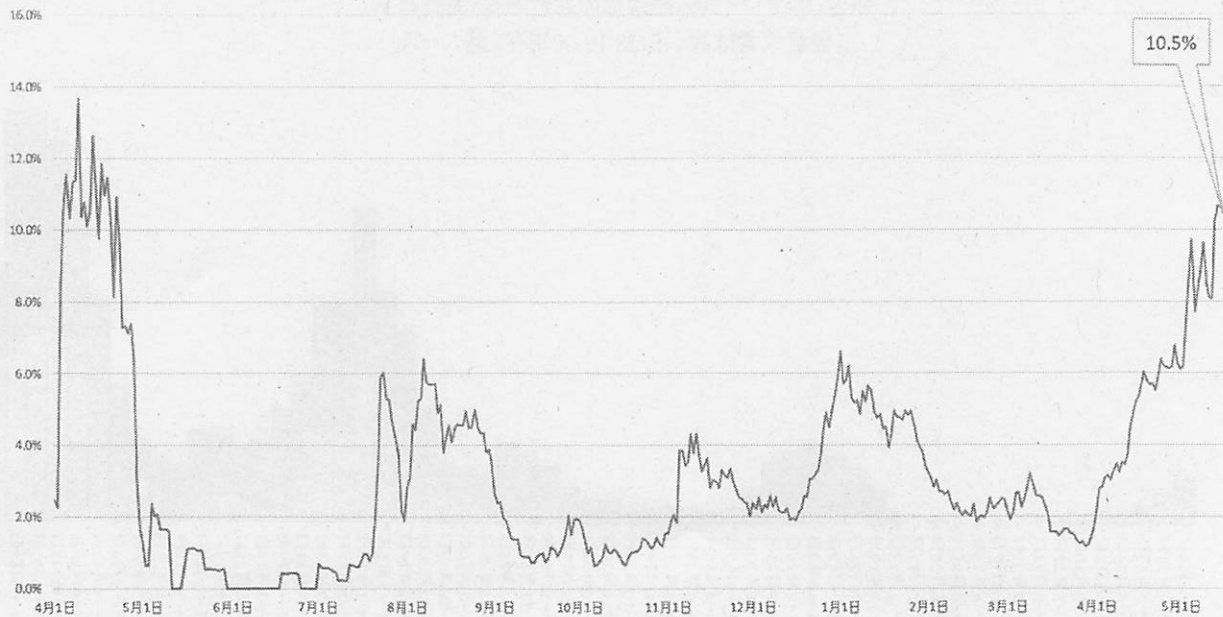
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)5/18 19:00現在(週ベース)



2)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)

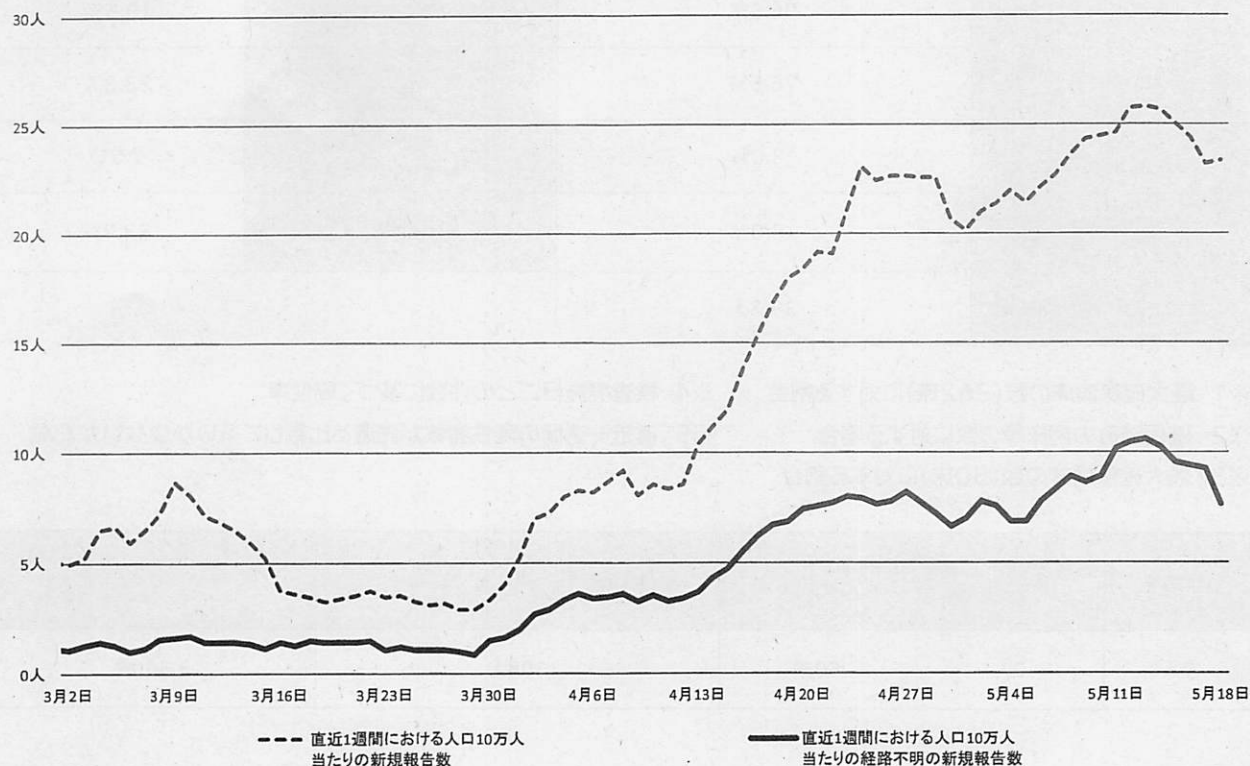


3)陽性率(7日間移動平均)



- 陽性率の7日間の移動平均(その日までの7日間の平均)を見ると、5月16日現在の陽性率は9.6%でした。

4) 経路不明の新規報告者数の推移



5) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内病床数	入院者数			空床数	県内宿泊療養施設数	療養者数			退院等	空数
		県内発生	その他				県内発生	その他			
総数	362	277	261	16	85	400	160	158	2	128	112

6) 県内の陽性者発生状況

項目	陽性者数累計	現在陽性者数	入院中			入院予定等	宿泊療養	退院等	死亡	
			重症	中等症	軽症					
PCR検査数 (うち行政検査分 26,910) (うちその他検査分 53,489)	80,399 4,586 (うちPCR検査判明分 3,437)	540	263	7	70	186	118	159	3,972	74
抗原検査数	35,597 (うち抗原検査判明分 1,149)						(うち自宅待機 18) (うち自宅療養 100)			

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要
 中等症：酸素投与が必要または摂食不可能
 軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

7) その他県内の感染状況

①病床のICU利用者数	最大確保病床の占有率※1	76.5%	③直近1週間のPCR等陽性率※4	10.5%
	現時点の確保病床数の占有率※2	76.5%	④直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数	23.3人
	うち重症者用病床の最大確保病床の占有率※3	18.0%	⑤直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較※5	少ない
	うち重症者用病床の現時点の確保病床数の占有率	18.0%	⑥直近1週間における感染経路不明割合	32.7%
②人口10万人当たりの全療養者数		39.3人		

※1 最大確保病床の数(362床)に対する割合

※4 検査実施日ごとの件数に基づく陽性率

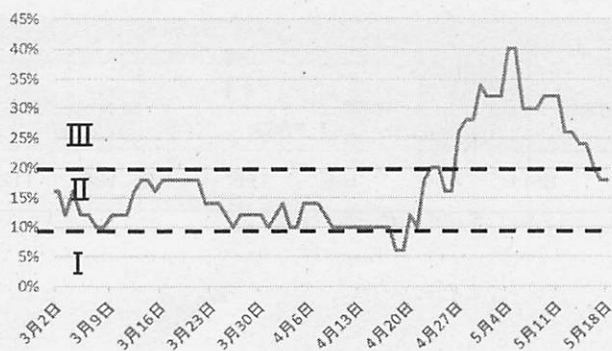
※2 確保済みの病床等の数に対する割合

※5 直近一週間の陽性者数が先週と比較して多いか少ないか記載

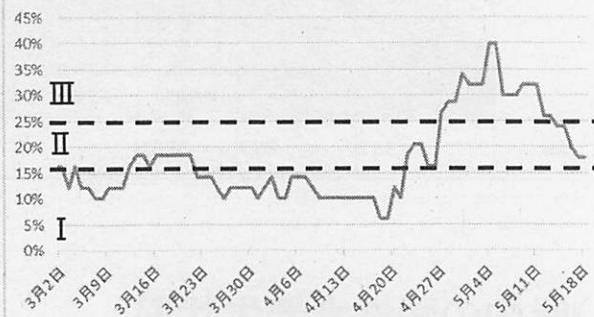
※3 最大確保病床の数(50床)に対する割合

重症者数	重症者以外のICU(集中治療室)利用者数	重症者用病床の現時点の確保病床数	新規感染経路不明者(直近1週間分)	PCR等検査数(直近1週間分)
7人	2人	50床	108人	3,300件

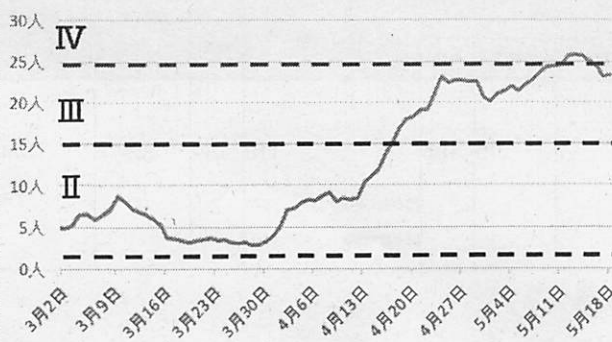
重症者用病床の最大確保病床の占有率



重症者用病床の現時点の確保病床数の占有率



直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数

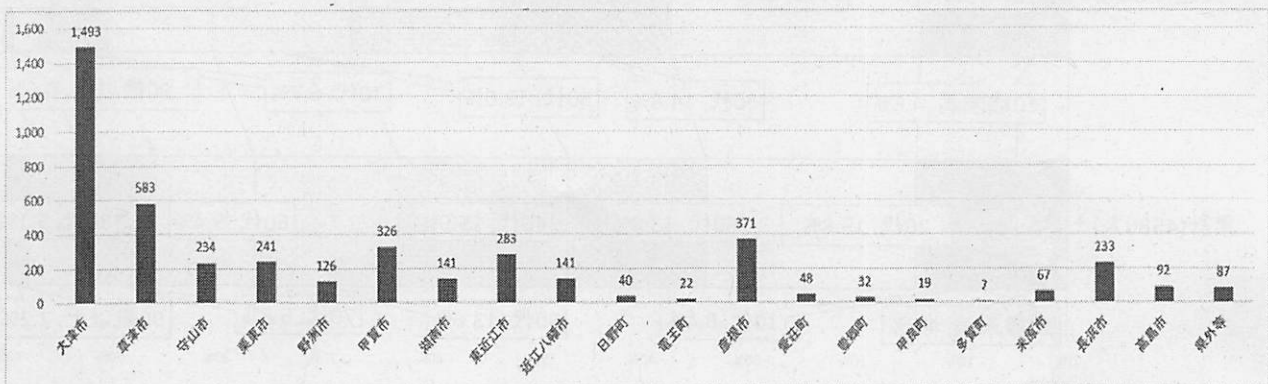




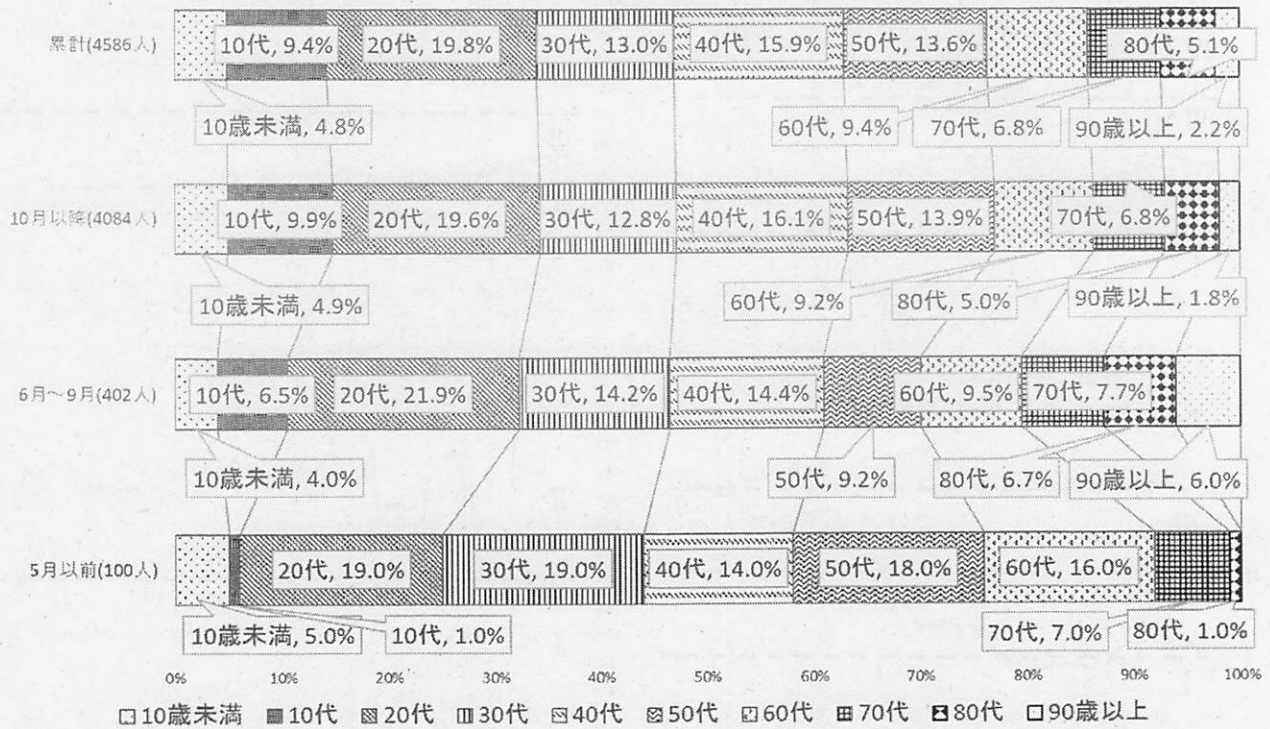
8) 性別陽性者数

性別	陽性患者数
男性	2,356
女性	2,009
非公表(10歳未満)	221
計	4,586

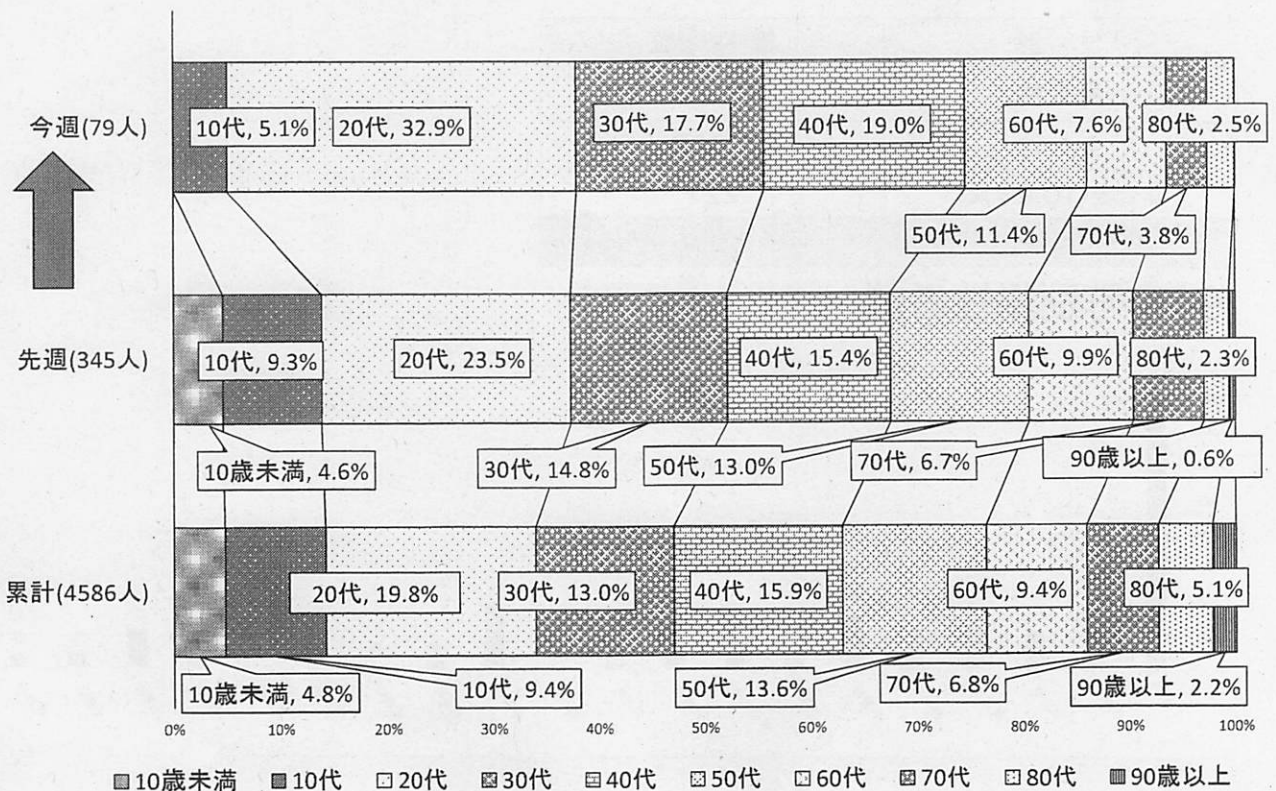
9) 市町別陽性者数



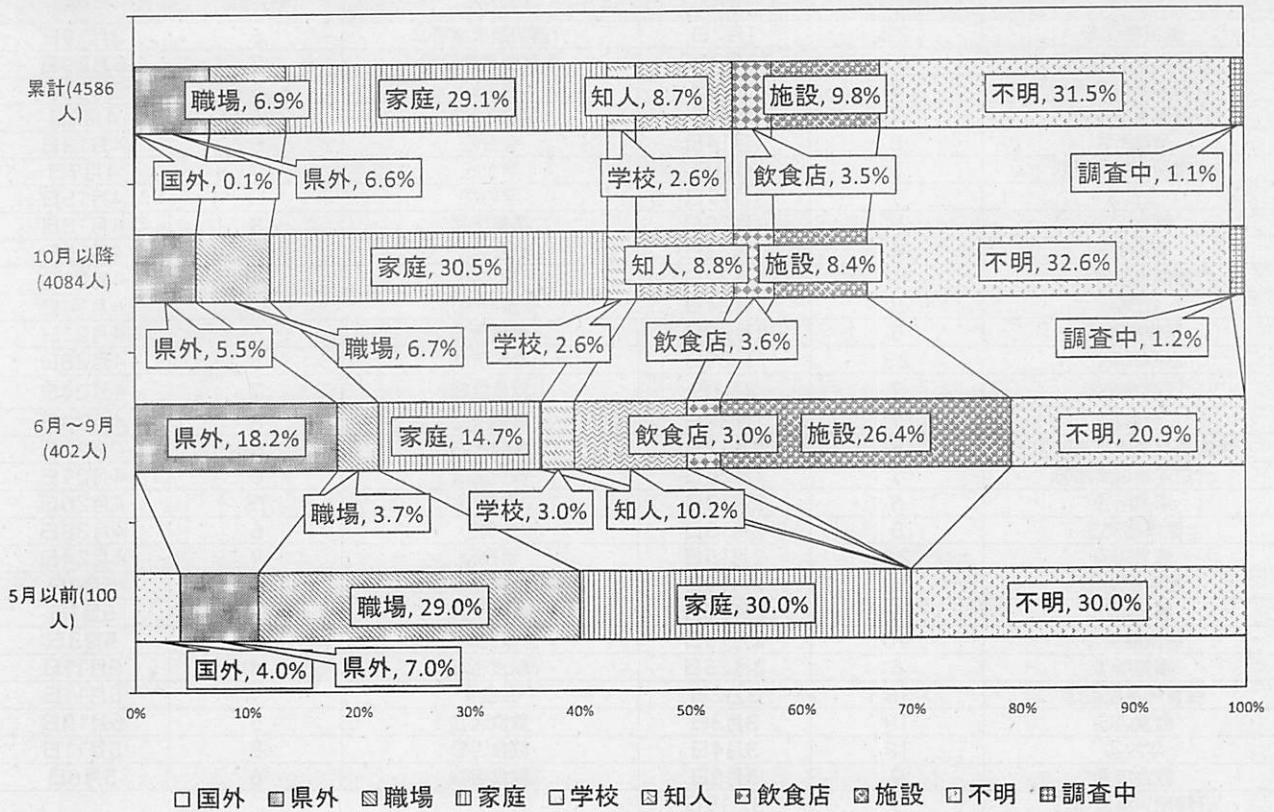
10) ①年代別



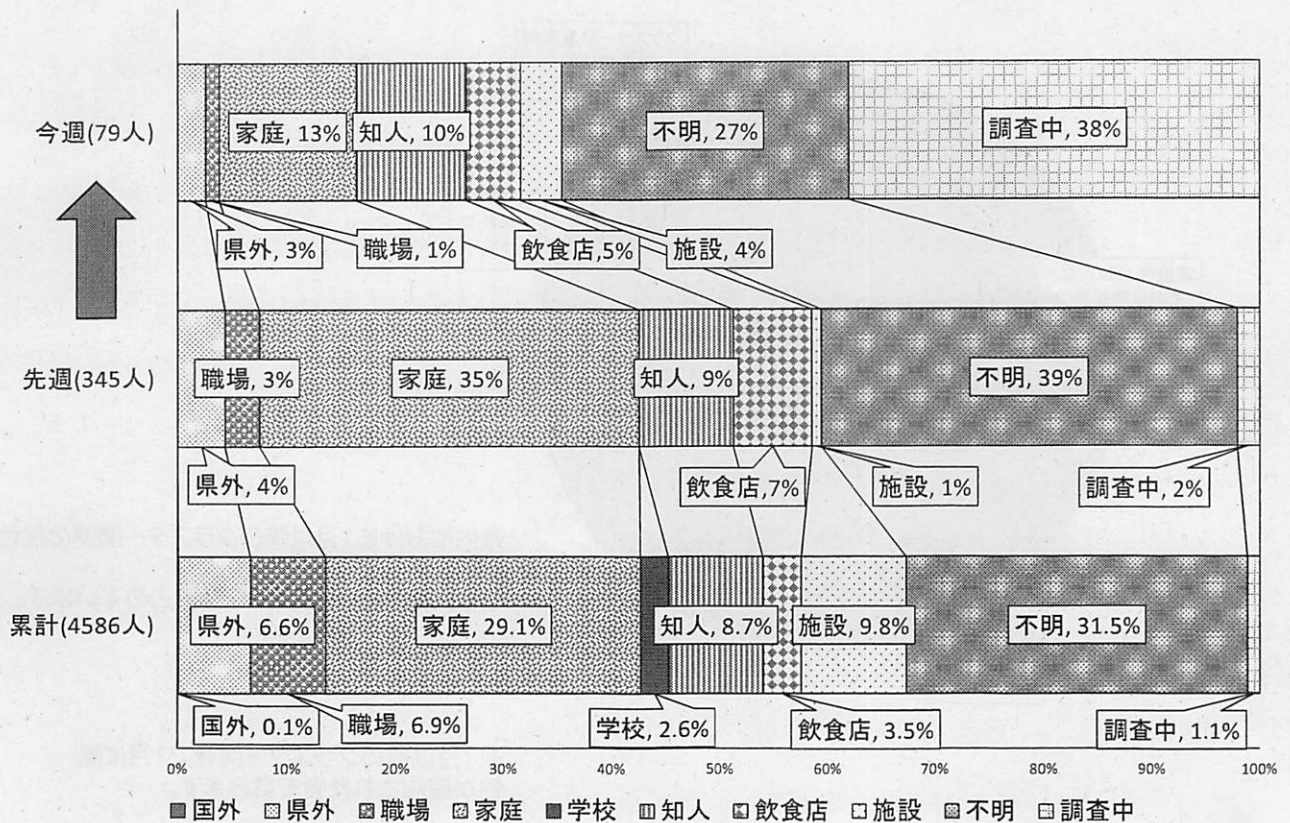
②年代別(週別)(5月18日現在) ※今週は5月17日～5月18日



11) ①感染経路別



②感染経路別(週別)(5月18日現在) ※今週は5月17日～5月18日

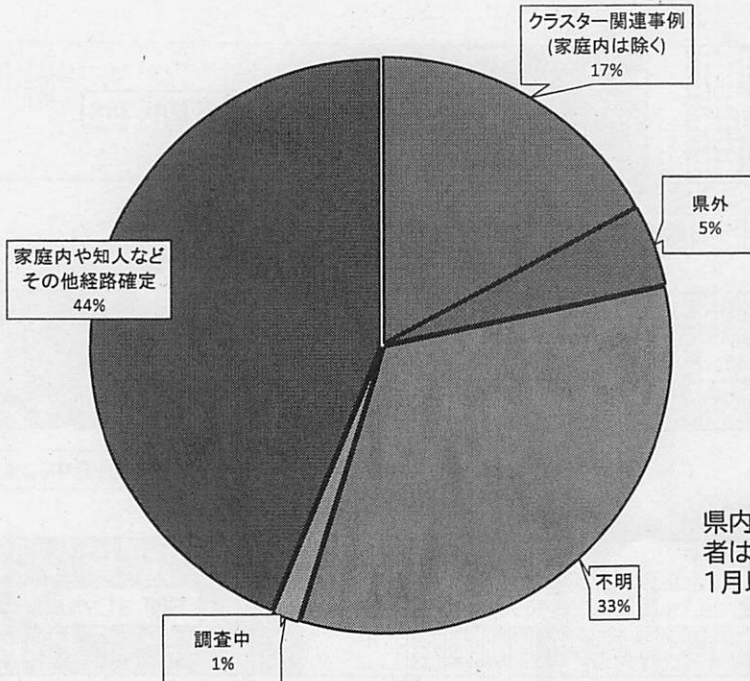


12)1月以降に発生したクラスターの状況

公表名	陽性者数	始期	公表名	陽性者数	始期
医療機関⑤	22	1月2日	介護関連事業所⑫	6	3月19日
介護関連事業所⑤	31	12月31日	保育関連施設④	7	3月29日
介護関連事業所⑥	8	1月5日	学校⑤	6	3月29日
介護関連事業所⑦	7	1月4日	事業所⑧	6	4月8日
事業所④	8	1月14日	会食⑥	6	4月13日
介護関連事業所⑧	5	1月1日	学校⑥	7	4月7日
会食③	7	1月17日	学校⑦	11	4月15日
飲食店③	24	1月20日	事業所⑨	8	4月13日
事業所⑤	4	1月23日	飲食店⑦	5	4月15日
介護関連事業所⑨	17	1月22日	学校⑧	15	4月21日
会食④	8	1月24日	医療機関⑪	13	4月14日
医療機関⑥	5	1月23日	事業所⑩	5	4月21日
医療機関⑦	23	1月29日	事業所⑪	5	4月23日
医療機関⑧	7	2月1日	飲食店⑧	7	4月24日
会食⑤	7	1月30日	事業所⑫	8	4月23日
障害福祉関連事業所①	5	2月12日	事業所⑬	5	4月22日
介護関連事業所⑩	7	1月25日	飲食店⑨	6	4月27日
事業所⑥	6	2月12日	学校⑨	18	4月26日
医療機関⑨	5	2月13日	会食⑦	6	4月28日
飲食店④	22	2月15日	学校⑩	7	4月24日
医療機関⑩	40	2月19日	障害福祉関連事業所②	21	5月2日
事業所⑦	6	2月25日	事業所⑭	16	5月1日
医療機関⑪	40	2月19日	医療機関⑫	6	5月3日
事業所⑦	6	2月25日	飲食店⑩	4	5月11日
保育関連施設③	18	3月2日	会食⑧	7	5月11日
飲食店⑤	19	3月3日	飲食店⑪	5	5月10日
学校④	18	3月4日	飲食店⑫	8	5月11日
飲食店⑥	9	3月3日	飲食店⑬	6	5月6日
介護関連事業所⑪	9	3月19日			

※県内において確認された陽性者数

1月以降の感染者(計3411件)に占めるクラスター等の割合

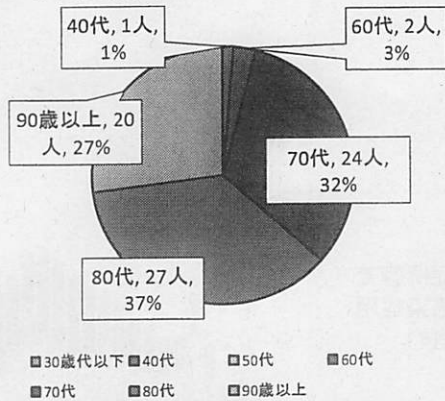


県内における1月以降のクラスター関連の陽性者は合計577名※で、1月以降の全陽性数の17%を占めています。

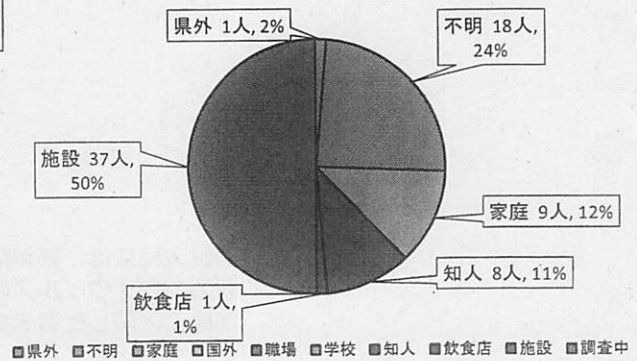
※1月以前のクラスター関連で1月に陽性が確認された者を含みます。

13) 死亡事例(計74件)の状況

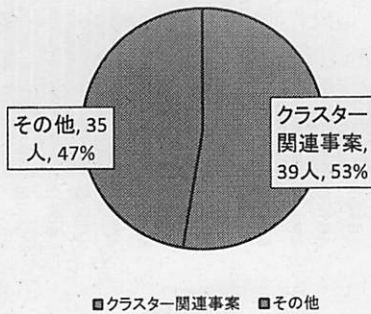
① 死亡者の年代別割合



② 死亡者の感染経路別割合



③ クラスター事例に関連する死亡者の割合

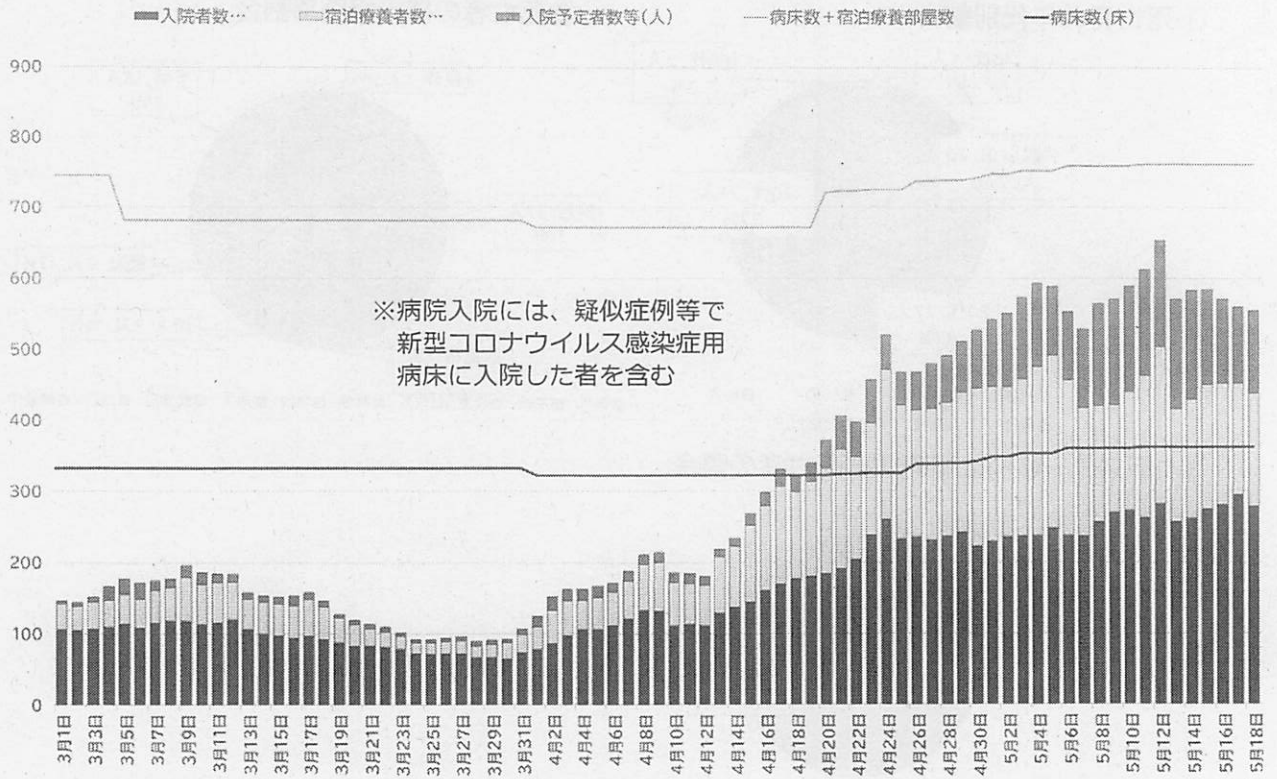


14) 変異株の発生状況

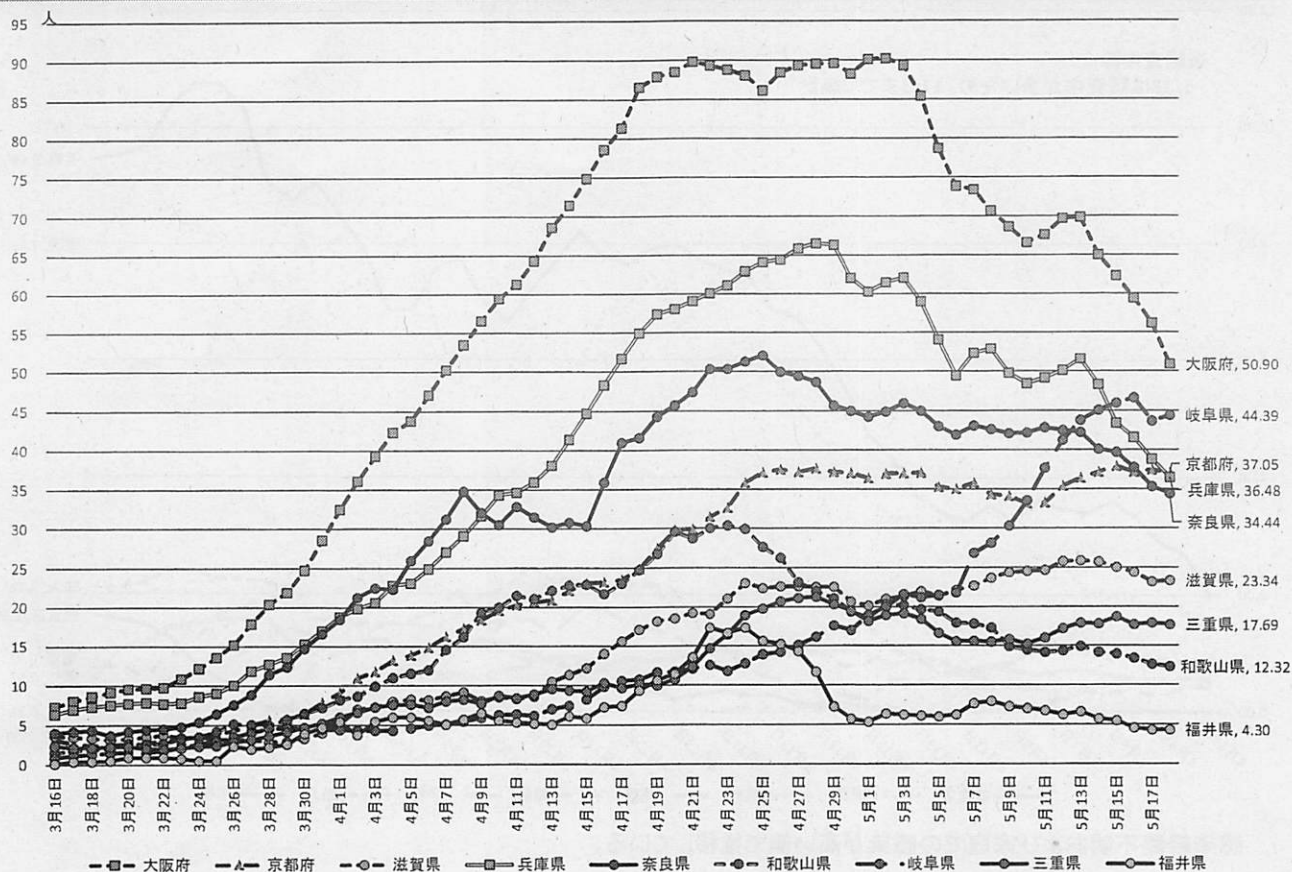
① 変異株に関する検査状況

検査実施月	変異株PCR検査の検査件数	変異株PCR検査の陽性件数	変異株PCR検査の陽性率
2月	426件	2件	0.5%
3月	186件	8件	4.3%
4月	385件	292件	75.8%
5月	275件	236件	85.8%
計	1272件	538件	42.3%

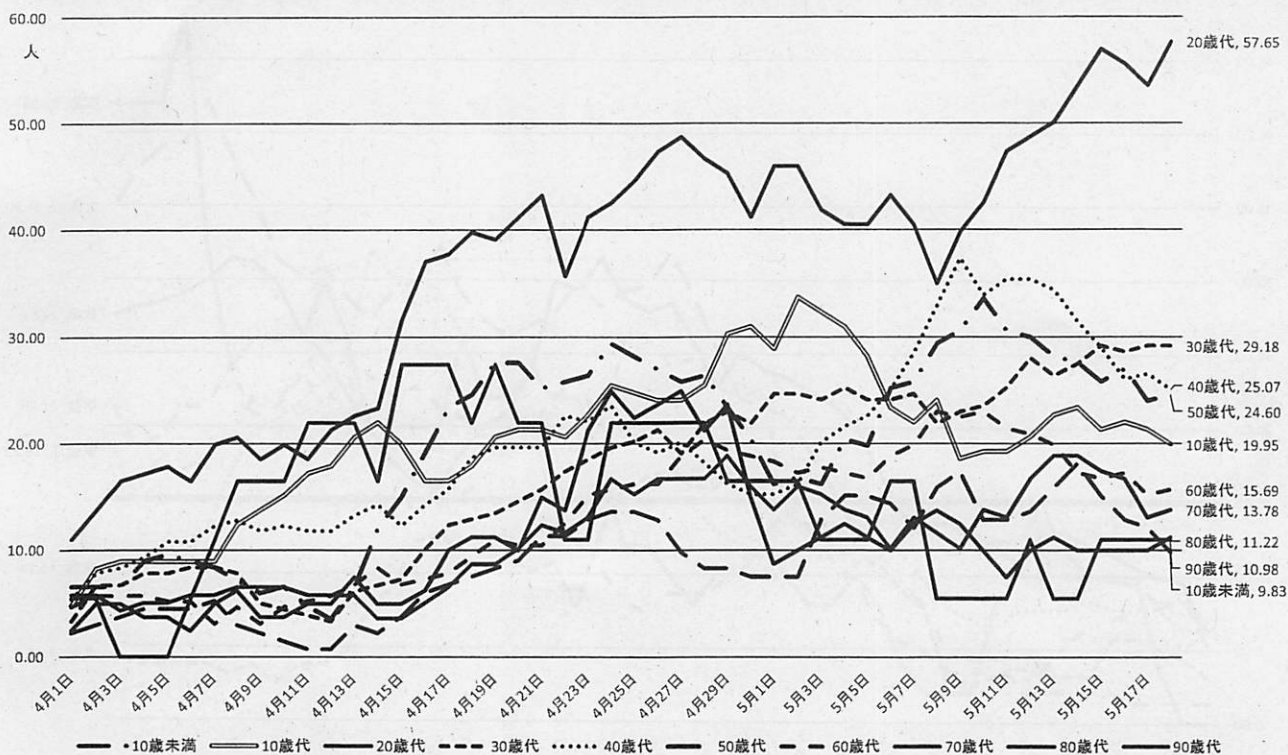
入院医療体制について



近隣府県の10万人当たりの新規感染者数の推移(直近7日間の累計患者数)(3/15-5/18)

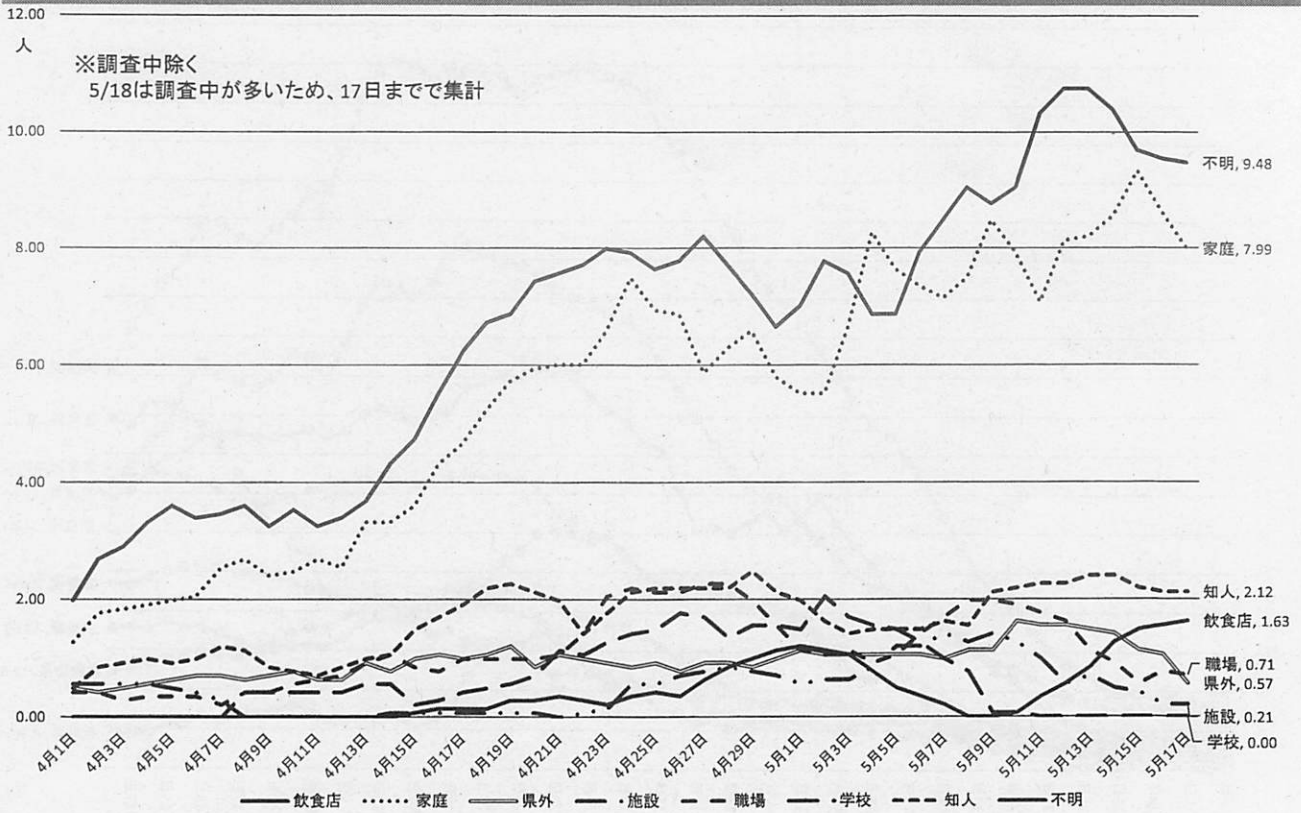


滋賀県 年代別10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数)
(4/1~5/18) 日別・公表日



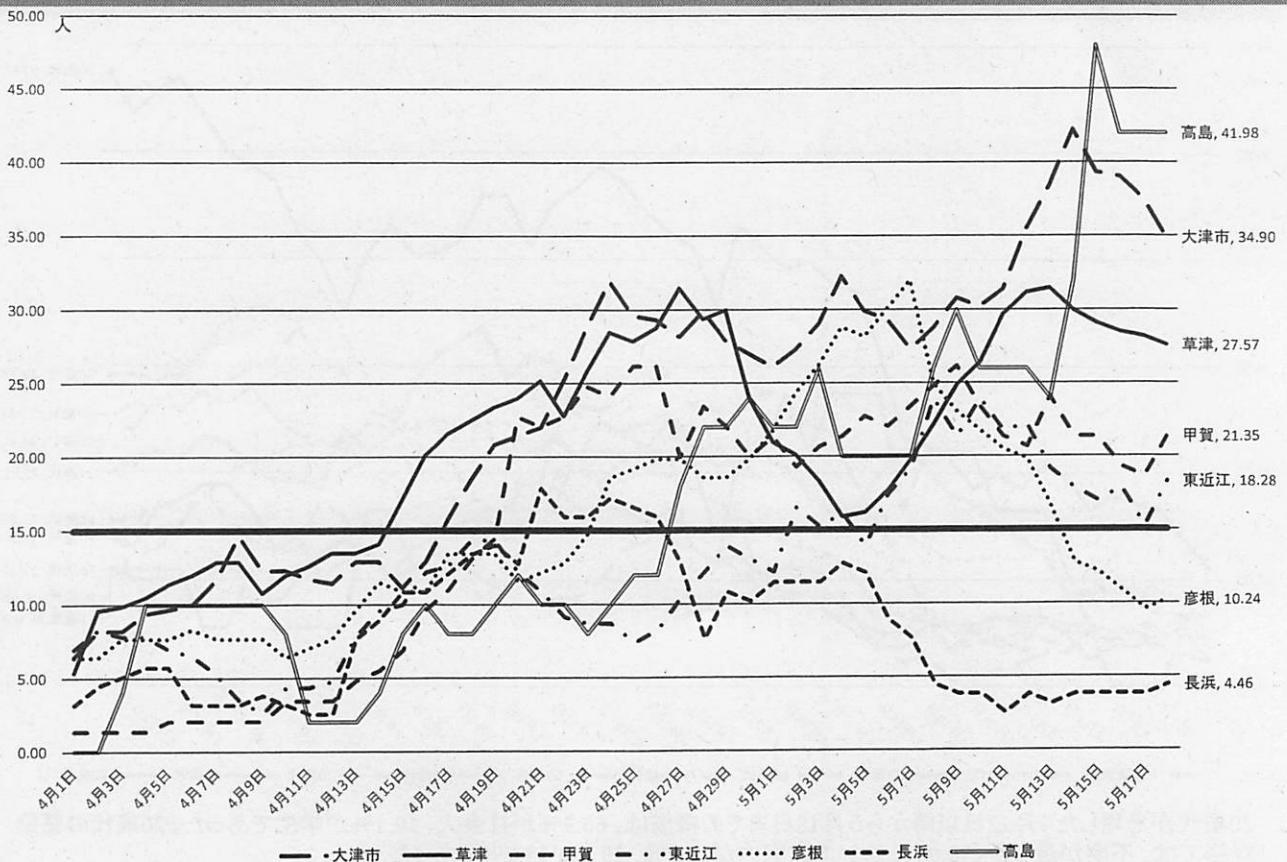
20歳代が急増した4月12日以降から5月18日までの構成は、66.9%が社会人、19.1%が学生であった。20歳代の感染経路では、不明が最も多く40.0%、次いで家庭内が16.3%、知人が15.2%であった。

滋賀県 感染経路別の10万人あたり新規陽性者数推移(直近7日間の累計患者数)
(4/1~5/17) 日別・公表日



感染経路不明および家庭での感染が高い値で推移している。

保健所別10万人あたりの新規感染者数(直近7日間の累計患者数)(4/1~5/18)
日別・公表日



連休前後の家庭内感染の状況(4/24～5/17公表日)

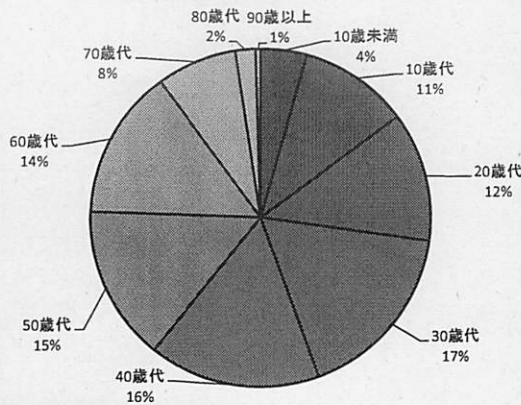
家族内感染者(4/24～5/17): 330人
※GWの緊急対応発表日以降



感染源となった患者数: 216人

1人あたり約1.5人に広げている計算

感染源の年齢構成(4/24～5/17)(n=209)



※7名は県外家族からの感染

感染源の感染経路

不明	知人等	飲食店	職場	県外	調査中
130	45	5	14	11	4



同居家族等、普段一緒にいる人以外との接触

県外	県内	記載なし	調査中
17	55	51	7

※県内と県外の両方で接触歴がある場合は、県外に集計

・家族内の感染源と考えられる患者の年齢は、10歳代から60歳代で10%を超えている。

・感染源の感染経路は不明が多く、不明のうち半数以上に、普段一緒にいる人以外との接触(飲食等)があり、県内での接触が県外より多い。また、接触について記載がない患者も多い。

評価

- 近隣府県では、ゴールデンウィークの前後で新規感染患者数が減少している自治体もあるが、本県の新規患者数は継続的に高い値で推移している。
- 新規患者数は継続的に高い値で推移している。特に20歳代で増加しており、高い値で推移している。
 - 推定感染経路は感染経路不明および家庭内の割合が高い。
 - 職場、医療機関や高齢者施設に併せて、ゴールデンウィーク中に家族以外と飲食したことが原因と考えられるクラスター事例を複数認めている。
 - 病床の占有率および人口10万人あたりの全療養者数は、ステージⅣの水準で推移しており、継続して医療体制非常事態下にある。
- 家庭内に持ち込んだ可能性がある患者においては、同居家族や普段一緒にいる人以外と県内で接触を認める患者を多く認める。引き続き、普段一緒にいる人以外との接触を控えることが必要である。
- 特定のリスク行動を認めない患者も多いため、全ての場面で家族以外の人との距離を確保することおよび3密を回避することが必要である。